

高放射性廃液貯蔵場における冷却水停止による 廃液温度上昇データの取得について

平成30年10月10日
再処理廃止措置技術開発センター

1. 概要

高放射性廃液貯蔵場（HAW施設）における高放射性廃液（HAW）貯蔵に供給している冷却水を一時的に停止させ、HAWの温度上昇データの取得作業を行う。

2. 作業内容

HAW貯蔵（V31～V35）のうち、発熱密度が最も高いHAW貯蔵（V35）を選定し、冷却水の供給を停止し、液温度のデータ取得を行う。他のHAW貯蔵については、V35のデータ整理を行い、実施の有無等について検討する。

3. 冷却水停止時間

以下に、各冷却停止時間の設定理由及び断熱モデル下での到達温度を示す。

冷却停止時間	各冷却停止時間の設定理由	到達温度*1
5時間	初めての作業であることから、供給停止操作から供給再開操作を日勤時間内で終了させることを考慮した	36℃
11時間	停止時間を延長した際の段階的な変化を確認するため半日程度とした	42℃
25時間	さらに停止時間を延長した際の段階的な変化を確認するため1日程度とした	55℃*2

*1 初期液温度:31.2℃

*2 液温度が42℃に達した時点で、冷却水の供給再開操作を行う

4. 実施スケジュール

以下に、実施スケジュールを示す。

冷却停止時間	実施日
5時間	平成30年10月10日（水） 9:00～14:00
11時間	平成30年10月16日（火） 9:00～20:00
25時間	平成30年10月23日（火） 9:00～ 平成30年10月24日（水） 10:00

・教育/訓練を行い、理解度を確認した後、本作業を開始する。

（教育・訓練：平成30年10月4日・10月9日）

5. 実施体制

実施体制は、1班当たり、班長（現場責任者）1名、班員（系統切替え、ポンプ起動操作、データ採取・整理含む）3名の4名体制で実施する。

*5時間停止：日勤対応

*11時間停止：直体制（1, 2直）

*25時間停止：直体制（1, 2, 3直）